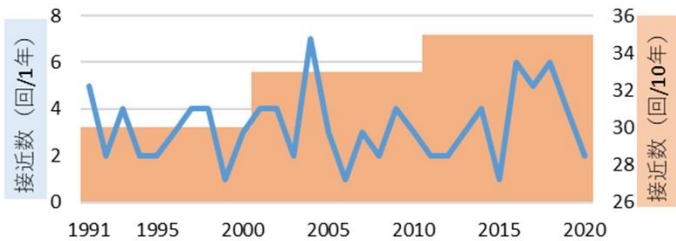


県全域における台風の発生・被害の傾向

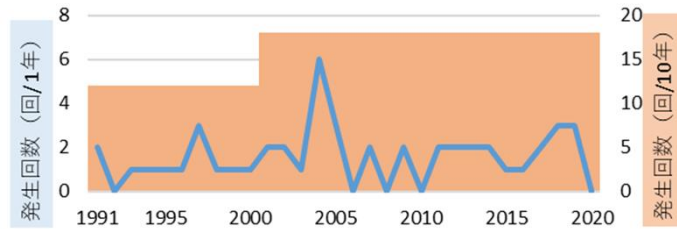
【全体概要】

- （図左）関東甲信地方への接近数は、過去30年間で平均3.3回。統計的変化傾向はみられないが、10年単位の接近数は過去から30、33、35回と直近10年が最も多い。
- （図中）栃木県での台風による農業気象災害の発生件数は、過去30年間で平均1.6件。年間発生件数に統計的変化傾向はみられない。10年単位の発生件数は12、18、18件。
- （図右）栃木県での台風による被害金額は、過去30年間で平均1,108百万円。被害金額に統計的変化傾向はみられない。10年単位の金額は10,033、2,312、20,897百万円。
- なお、日本全体でも台風の発生数・強い台風の発生数・接近数に変化傾向はみられていない*1。
- 一方で、将来、日本付近の台風の強度が強まることが予測されている*1。

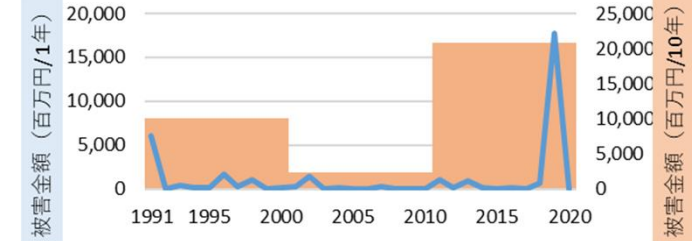
台風の関東甲信地方への接近数



栃木県での台風による災害の発生回数



栃木県での台風による被害金額

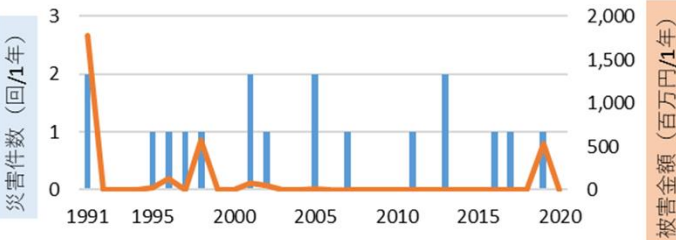


(注) グラフのオレンジ部分は、10年単位 (1991~2000年、2001~2010年、2011~2020年) の合計値

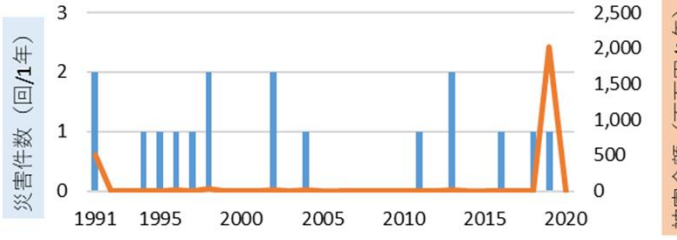
【主な被害品目】

- 過去30年で被害金額の大きい主な品目は、水稻 (3,192百万円)、いちご (2,620百万円)、なす (1,359百万円)。
- （図左）水稻の災害件数・被害金額は、最高で年間2件、最大の被害金額は1991年の1,775百万円。
- （図中）いちごの災害件数・被害金額は、最高で年間2件、最大の被害金額は2019年の2,019百万円。
- （図右）なすの災害件数・被害金額は、最高で年間4件、最大の被害金額は1996年の507百万円。
- また、農業用施設や水利施設における被害金額も大きく、過去30年でそれぞれ4,195百万円、9,723百万円となっている。

水稻の災害件数・被害金額



いちごの災害件数・被害金額



なすの災害件数・被害金額

